

【取組の目的】

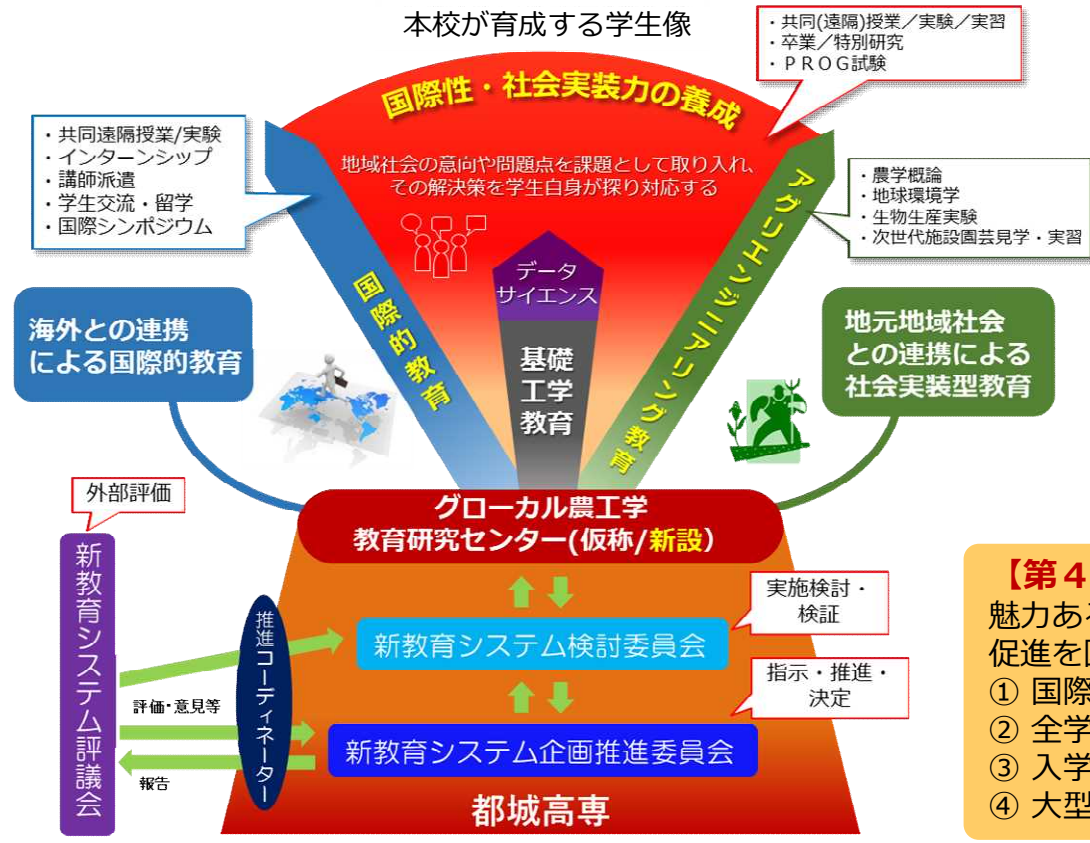
今後の地域ニーズに基づく課題（農業等）の解決および地域貢献のため、国際性および社会実装力を身に付けた創造性豊かな高度エンジニアの育成を可能にする教育システムの開発を図る。

【取組内容】

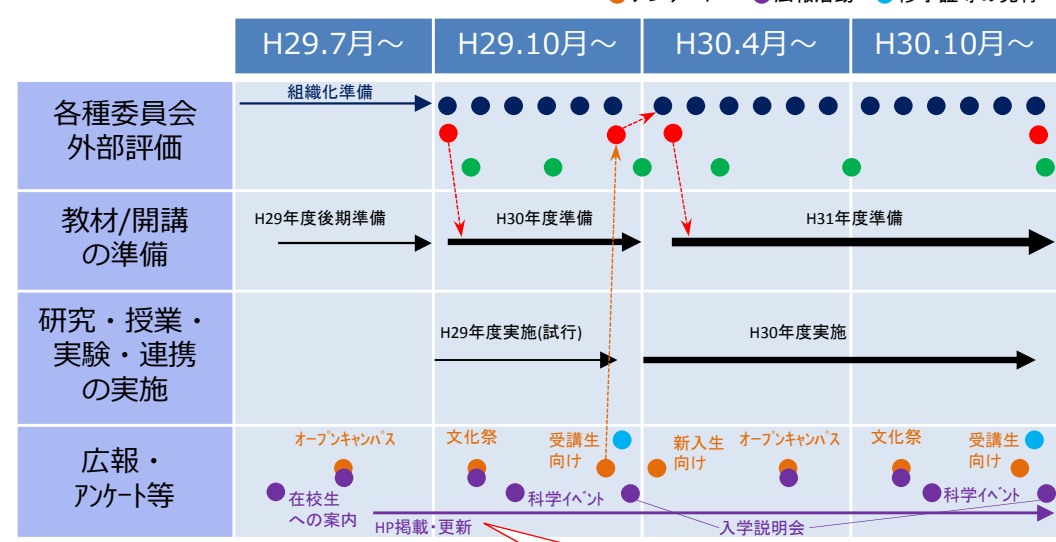
グローバル農工学教育研究センター(仮称)を立ち上げ、以下の事業等に取り組み、成果指標の達成を目指す。

- ① 学科共通教育の実施・検討、アグリエンジニアリングに関する授業/実験/実習の実施に向けた環境の整備
- ② 地元産官学組織と連携した共同教育/実験/実習/卒業研究等の実施・検討
- ③ アジア地域の高等教育機関との国際連携事業の実施に向けた検討

【新教育システム・実施体制】



【工程表】



報道機関への周知、海外活動についてのアンケート・広報は適宜

【成果指標】

	H28年度	H29年度	H30年度
① 国際化ならびにアグリエンジニアリング・社会実装に関する授業科目の整備に向けた学内外共同教材開発・研究件数	4件	16件	26件
② 国際交流活動への学生の参加人数	50人※	150人	230人
③ 農業/社会実装に関する共同研究の件数	1件	4件	7件

※H26～28年度の平均値

【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

魅力ある高専教育に向けた改善および地元貢献を推進するとともに、研究活動の促進を図る。具体的には、以下の通りである。

- ① 国際化ならびにアグリエンジニアリング・社会実装に関する授業科目の開講
- ② 全学生の国際活動への参加、TOEICスコア上昇(2カ年平均50ポイント増加)
- ③ 入学志願者および地元就職率の上昇(共に5カ年20%増加)
- ④ 大型競争的資金(科研費等)の採択件数の増加等